

信州大学工学部における地震時のリスクマネジメントシステムの構築

平成 21 年 2 月 高橋 智子

要旨

- 目的** 信州大学工学部において、地震時に発生する可能性があるリスクを対象としたリスクマネジメントシステムを構築する。
- 方法** 日本規格協会が発行する「JIS Q 2001 ーリスクマネジメントシステム構築のための指針ー」に基づき、信州大学工学部独自のリスクマネジメントシステムを構築した。
- 特徴** このリスクマネジメントシステムには、信州大学が取得している環境マネジメントシステム ISO 14001 と蛸足大学という実状に合わせたという特徴がある。また、ISO 14001 の組織体制を参考とした事前対策を行う平常時組織と、Incident Command System に基づき構成した緊急時対策を行う緊急時組織を構築した。
- 結論** 緊急時組織の構築にあたって、蛸足大学という形態により緊急時でも工学部単体で対応にあたる必要があるため、限られた人員数で対応できるよう、財務関係の対応を行う機能とマスコミ対応を行う担当を緊急時組織から除外した。また、緊急時には組織的な対応のみではなく個人における行動もリスク低減のためには重要であるため、個人が行うべき事前対策と地震発生時に取るべき初動体制を記したマニュアルを作成した。今後の課題は、実際のリスクマネジメントシステムの運用を目指し、組織への人員の配置と個別業務に関する具体的な手順や方法などを示すマニュアルを作成することである。

指導教員 小山茂 助教